

高槻市議会議員

たけなか けん

竹中 健



経歴

- 1987年(昭和62年)7月16日生／35歳
- 阿武山小学校、阿武山中学校、春日丘高校 卒業
- 立命館大学 法学部 法学科 政治行政コース 卒業
- 2015年 高槻市議会議員選挙において、最年少で初当選
- 2019年 高槻市議会議員選挙において、最年少で2期目当選

その他

議会役職 / 市民都市委員会委員長、福祉企業委員会委員長 等を歴任
 家族構成 / 妻、長女(6歳)、次女(2歳)の4人家族
 社会活動 / 一社)高槻青年会議所 副理事長、専務理事等を歴任
 / 議員インターンで過去数十名の大学生を受け入れ

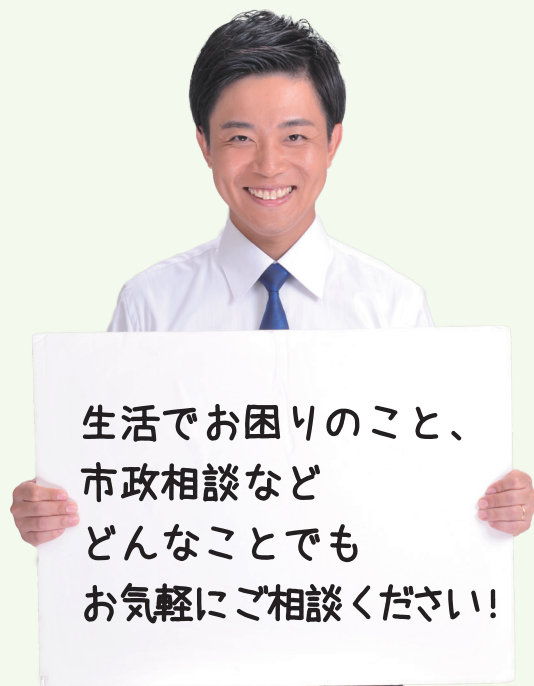
現役世代を代表して、
未来に責任を持った政治
 を高槻市で実現します！

現在日本では急速に少子化が進んでおり、2022年の出生数が80万人をきることがほぼ確実となっています。子育てへの不安や厳しい経済状況など、子育て環境の課題を解決しなければこの状況を変えることはできません。しかし、政治の世界には相変わらず子育て世代の議員が非常に少なく、子育て世代や子どもたちの声が政治に反映されにくい状況になっています。※注1

だからこそ、実際に子育てをしている現役世代の議員として、誰よりも当事者意識を持って、子育て・教育施策に取り組んでまいりました。未来に負担を先送る政治に真正面から立ち向かい、「**将来にツケを遺さない未来に責任を持った政治**」を高槻市で実現します！

※注1 20～30代の市議会議員は全国の市議会議員の1割以下 参考：総務省「地方選挙結果調査(平成31年)」

ご相談・ご意見をお寄せ下さい



Tel : 070-5508-9243
 Mail : mail@takenakaken.net



■ 保育施設での「使用済みおむつ」の持ち帰り廃止を

保育施設における使用済みおむつの持ち帰りが近年報道もされ問題になっています。使用済みおむつの持ち帰りをさせている背景には、布おむつを使用していた時代からの名残であること、園児の健康状態を家庭に伝えること、管理や処分費用がかかることなどが一般的には理由としてあげられています。しかし、**毎日おむつを持ち帰ることは保護者の大きな負担である**ことに加え、保育士も一人ひとりのおむつを仕分ける必要があります。業務上の負担にもなっています。なにより、**コロナ禍で衛生面での配慮が必要になっている**ことを踏まえると、この運用を見直すべきだと考え、公立保育施設での使用済みおむつの持ち帰り廃止を提案しました。

その後、令和4年度7月から**公立保育施設での使用済みおむつの持ち帰りが廃止**され、各保育施設で処分できるようになりました。今回の取り組みを皮切りに、**保護者と保育士の負担軽減につながる保育環境改善**に向けた取り組みをさらに進めるよう提案しています。



■ 行政手続をもっと便利に、オンライン化の推進を

平日の開庁時間にあわせづらい方や市役所まで移動することが大変な方など、仕事や子育てで窓口まで直接来ることが難しい方に対して、**行政手続のオンライン化は非常に大きな住民サービスの充実につながる**と考えています。現在国の計画で進められている27個のオンライン化対象行政手続のうち、高槻市でいまだオンライン化されていない**「保育施設等の利用申込」や「妊娠の届出」、「要介護・要支援認定の申請」など、22の行政手続のオンライン化が令和4年度中に実現**することになりました。このように行政のデジタル化を進めることで、市民のみなさまの利便性の向上はもとより、行政の効率化が期待されます。そこで、国が指

定する手続以外にも、「転出・転入届」や「小中学校の入学手続」など行政手続のオンライン化を積極的に進めることで、**いつでもどこでもスマホ1つで行政手続ができる環境**を構築するよう提案しています。加えて、デジタルが苦手な方に向けても、きちんとサポートができる体制構築を求めています。

